

第4次小平市子ども読書活動推進計画

— 子どもが本と出会うために —

【令和3年度進捗状況】

令和4年9月
小平市教育委員会

目 次

第 1	家庭における読書活動の推進	・ ・ ・ 1
第 2	学校等における読書活動の推進	・ ・ ・ 4
第 3	図書館・地域における読書活動の推進	・ ・ ・ 7

【第 4 次小平市子ども読書活動推進計画】令和3年度 進捗状況調査報告書

1 家庭における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
1	乳幼児とその保護者へのサービス	図書館	・乳幼児タイムの実施 乳幼児とその保護者が、読み聞かせする声などを気兼ねすることなく図書館に滞在できる時間帯を設定	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため 9 月まで中止、10 月から再開した。	・地区図書館での実施も検討する。
			・乳幼児とその保護者が安心して長い時間図書館で過ごせる環境づくり ・小川駅西口新公共床に整備予定の新しい小川西町図書館を、誰もがくつろいで滞在できる場とする環境づくり	・図書館では短い滞在時間でも、良質な本を効率よく選び、自宅でゆっくり楽しめるように、各館で絵本の展示やパック貸出を行った。 ・新しい小川西町図書館の設計について、図書館利用者にとって居心地の良い施設が実現できるよう調整した。	・コロナ禍においても安心して図書館利用ができるよう、図書館の環境づくりに努める。
2	ブックスタートの実施	健康推進課・図書館	・3～4 か月児健診時、子どもと保護者にボランティアが読み聞かせをした後で絵本を配付	・受診者 1,268 人に対し、1,265 冊の絵本と、赤ちゃん絵本リスト、図書館利用者登録申込書を配付した。本来は3～4 か月児健康診査時に子どもと保護者に対し、ボランティアの読み聞かせの後で絵本を手渡す事業であるが、令和元年度 3 月以降は、新型コロナウイルスの感染リスクを抑えるため読み聞かせは中止とし、会場入口で保護者に絵本を選んで取ってもらうのみとしている。なお、読み聞かせを実施しない代わりに、ブックスタート事業の趣旨を知ってもらうため、NPO ブックスタートが作成した動画「赤ちゃんといっしょに絵本」を紹介するチラシを QR コード付きで作成し、配付物に加えている。 ・読み聞かせのボランティア向けに講演会「コロナ禍のブックスタート」を、NPO ブックスタート職員の大津智美氏を講師に開催した。 参加：19 名	・子育て中に図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て促進の場として充実を図る。 ・家庭においても絵本を通じた子どもと保護者とのふれあいの時間を持ってもらうきっかけ作りとする。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
3	図書館における行事の定期的な開催	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館で「おはなし会」、「絵本のへや」を定期的 to開催。また、それぞれの地区館で独自のおはなし会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例のおはなし会【全館】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため10月まで中止し、11月から感染症対策を講じておはなし会を再開した。 4歳児から1年生の部：4回（9名参加） 小学生の部：4回（5名参加） 4歳児から小学生の部：28回（82名参加） ・「スペシャルおはなし会」 （クリスマスシーズンに合わせたおはなし会） 感染症対策として、家族単位での参加とし、定員を設けて実施した。 中央図書館 22名、仲町図書館 5名、花小金井図書館 6名、小川西町図書館 10名、喜平図書館 12名、上宿図書館 9名、津田図書館 20名、大沼図書館 18名参加 ・各館の児童書展示コーナーにおいて、季節に応じた図書の展示を行った。 <p>以下の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日曜日のおはなし会 ・「よるのおはなし会」（夏の季節に合わせた少し怖い内容のおはなし会） ・「絵本のへや」（0歳児からの子どもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうた等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例のおはなし会や絵本のへや、イベント性を持たせた各種おはなし会については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見ながら開催を検討し、開催する場合は感染症対策を十分に講じた上で実施する。
4	これから子育てをする方へのサービス	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・これから子育てをする方へ向けた、「プレパパ・プレママおはなし会」の定例的な開催の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「プレパパ・プレママおはなし会」は中止した。 ・対面を要さない企画として、出産を控えた方や3歳までの子どもがいる家庭を対象に、育児本や絵本、自宅で楽しめるわらべ歌のリストなどをセットにした「本で子育ておうえんセット」の貸出しを全館で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面せずにできる企画も含めて検討する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
5	おはなし室の開放	図書館	・乳幼児と保護者が、絵本とふれあいながら図書館で過ごせるよう、おすすめ絵本を揃えた上でおはなし室を開放	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	・開放に当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施する。
6	子育て支援課との連携	子育て支援課	・「子育てガイド」の発行、子ども向け図書館行事の掲載	・「こだいら子育てガイド」に図書館情報や子ども向け図書館行事の案内を掲載して 9,000 部発行し、図書館のほか、公民館、保育園、関係機関等、子育て世代の利用者の目に触れる場所に設置した。	・母子健康手帳交付時・転入手続き（手当等）時や子育て中の保護者の目に触れるよう、各公共施設等に配布したことで、図書館の情報を発信することができた。今後も継続して実施し、情報提供する。
		図書館	・子育て支援課発行の、子育てに関するガイドブックの受け入れ	・図書館情報も掲載した「こだいら子育てガイド」を図書館資料として受け入れ、子育て関連コーナーや地域資料コーナーに配架した。	・今後も相互協力を行い、それぞれの情報が子育て世代の家庭に届けられるよう努める。

2 学校等における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
1	学校図書館指導年間計画の作成と実施	学校・指導課	・各教科等の学習活動と読書活動推進に関わる計画を作成し、図書館利用の促進、読書時間の確保等の実施	・全ての小・中学校で読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成した。 ・各教科等の授業において、学習内容と関連付け、学校図書館の利用を促進した。また、読書活動の時間を、年間を通して計画的に確保し、児童・生徒が読書に親しめるようにした。	・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保について、継続して行う。
2	学習情報センター機能の充実	指導課・図書館	・子どもが主体的に問題解決のための情報収集や探究活動に取り組む能力を育成するための、学校図書館における学習情報センター機能の充実	・学校図書館協力員を対象に研修を行い、学校図書館の機能の理解・啓発を行った。	・学習情報センター機能の充実を図り、今後も継続して行う。
3	学校図書館システムの整備	学務課	・学校図書館システムの整備	・貸出、返却、蔵書点検などを行えるシステムの整備をし、システムを活用して図書の貸出等を行った。 ・「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務を行った。	・引き続き「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務や学校図書館での貸出等を行う。
		図書館	・学校図書館システムの環境整備	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員が、学校図書館システム操作関連の相談に対応した。 ・学校図書館システムに掲示板機能やメール機能、共有フォルダ機能を追加したことで、学校図書館協力員との連絡や情報共有等の利便性の向上につながった。 ・GIGA スクール端末での利用を想定し、学校図書館 OPAC の学校外からの閲覧を可能とするシステムの変更を検討した。	・学校図書館システムに新たに追加された掲示板機能やメール機能の更なる活用を進め、仲町図書館を中心とした学校図書館協力員間の情報共有を図る。また、今後は共有フォルダ機能の活用により、学校図書館協力員の研修の更なる充実を図る。 ・システム設定変更の費用が高額であることから、システムの変更方法を検討する。
4	学校における市立図書館資料の活用	学校	・図書館の調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）や、学期ごとの学級文庫用の図書貸出（団体貸出）と、学校での活用	・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。	・今後も活用する。
		図書館		・調べ学習図書の貸出： 小学校 15,156 冊 中学校 336 冊 ・学級文庫への貸出： 小学校 9,679 冊 中学校 100 冊	・今後とも調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じる。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
					<ul style="list-style-type: none">・古くなった調べ学習用図書を順次新しいものに入れ替える。・学級文庫用図書の貸出事業を行うにあたって感染対策として、これまで実施していた学校ボランティアによる選本を行わず、学校図書館相談員が選本する。
5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課・学校	<ul style="list-style-type: none">・学校ごとの購入方針・廃棄基準の整備、蔵書の整備	<ul style="list-style-type: none">・国基準の達成に向けて、各学校の蔵書率に応じて予算を令達した。・国基準の達成に向けて学校ごとに計画的に図書を購入するとともに、廃棄基準については全国学校図書館協議会で作成している「廃棄基準」をもとに各学校に基準の整備を働きかけた。	<ul style="list-style-type: none">・今後も継続して行い、学校図書の充実に努める。
6	学校図書館担当教諭の資質向上	指導課・学校	<ul style="list-style-type: none">・各学校との情報交換及び学校図書館担当教諭の指導力の向上	<ul style="list-style-type: none">・年1回の学校図書館司書教諭等連絡協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	<ul style="list-style-type: none">・年1回の連絡協議会において、他校や他自治体、ICTを活用した事例等を共有するなどして、担当教諭の指導力向上に引き続き取り組む。
7	啓発・広報の充実	学校	<ul style="list-style-type: none">・読書週間の活用、図書館だよりの発行等	<ul style="list-style-type: none">・各学校において、年度当初や読書旬間に図書館だよりを発行した。	<ul style="list-style-type: none">・今後も、読書への関心が深まるような広報を継続して実施する。
8	児童・生徒の主体的な読書活動の推進	学校	<ul style="list-style-type: none">・図書委員会の取組や児童・生徒自身による主体的な読書活動の活発化	<ul style="list-style-type: none">・小・中連携教育のこだいら共通プログラムの学力向上の取組として、一部の学校において、読書習慣の定着や言語活動の充実、及び発信する力の育成を図るため「ビブリオバトル」を行った。	<ul style="list-style-type: none">・今後も児童・生徒の主体的な読書活動を活発化するために、児童会・生徒会を中心とした主体的な取組事例を共有する。
9	小・中学校の学校図書館の機能の充実	図書館・指導課・学校	<ul style="list-style-type: none">・学校図書館の役割である「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実・学校図書館協力員の名称を学校司書へ変更を検討	<ul style="list-style-type: none">・例年は学校図書館司書教諭等連絡協議会で、各校の取り組みについて情報交換を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。・学校図書館協力員の学校司書への名称変更については、他自治体における状況の把握に努めた。	<ul style="list-style-type: none">・児童・生徒の主体的な探究活動につながる機能の充実に努める。・学校図書館の現状を把握し、機能の充実を検討する。・学校司書への名称変更による課題の整理を進める。
10	学校図書館協力員への研修会の開催	図書館・学校	<ul style="list-style-type: none">・学校図書館協力員への研修会の実施	<ul style="list-style-type: none">・学校図書館協力員への研修会を中央図書館等にて5回実施した。	<ul style="list-style-type: none">・今後も研修会を定期的の実施し、学校図書館協力員の質の向上に努める。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
11	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館	・学校図書館システム操作に関わる支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員により、システム操作関連の相談に対応した。	・今後も図書の受入れ・廃棄や蔵書点検、児童の進級に関するデータ処理等、システムに関する相談支援を継続する。
12	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子どもの特性に配慮した読書環境の整備と読書機会の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデイジー図書の貸出や、市立図書館所蔵のデイジー図書、布の絵本、LL ブック等の学校図書館への提供による読書活動の支援 ・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のある子どもが学校図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の図書館で、布の絵本・遊具や点訳絵本、児童書のデイジー図書や大活字本、外国語の絵本等を収集・配架した。 ・学校が障がいテーマにした調べ学習を行った際、図書館から貸し出す資料に点訳絵本も加えて周知を図った。 ・市の図書館の「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、LL ブックなどの展示をし、通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も支援を必要としている子どもや周りの大人たちに情報が届くよう努める。 ・学校図書館との連携を構築する。 ・読書バリアフリー法に基づく学校図書館の施策のあり方について研究する。
		指導課・学校		<ul style="list-style-type: none"> ・個別の実態に応じた図書を、図書館と連携して準備・活用した。 ・図書館と連携し、子どもたちの特性に配慮した読書環境を整備した。 	・今後も図書館と連携し、読みたい本を探しやすい配架の工夫などの環境整備に努める。
13 ・ 15	幼稚園の図書館見学 幼稚園における読書活動の推進	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の図書館見学の受け入れ ・読み聞かせに関する講座の保護者への情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幼稚園の図書館見学を中央図書館で1園受け入れた。館内の見学の他、児童コーナーの絵本の探し方や利用の際の注意点を伝えるなど、子どもたちの今後の図書館利用に役立つような内容を伝えた。 幼稚園の図書館見学受入れ：1園 58名	・図書館見学では、普段は入れない場所に案内するなど、子どもたちの興味を引くものが多く、図書館の面白さを直接伝えることができた。今後も受け入れに当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施する。
14	保育園における読書活動の推進	保育課	・保育士による絵本の読み聞かせや、小平市子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」によるおはなし会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を十分に講じた上で、保育士が子どもたちに日々読み聞かせを行い、子ども達が自ら絵本を手にとることができる環境を年齢に応じて整えた。 ・「絵本に出てくるメニュー」は、読書週間の前後に保育課栄養士の発信で10回ほど行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度の「おはなし会」の実施は中止とした。 	・子どもたちが絵本と触れ合うことで湧いてきた様々な興味が、保育内容の充実につながり、それが更なる読書活動の推進となるので、引き続き取り組む。

3 図書館・地域における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
1	小学校入学年時における図書館案内	図書館・学校	・すべての新1年生に対して、入学時に学校を通して子ども用図書館案内を配布	・市の図書館の夏休みおすすめ本リスト配布時に、1年生に対して利用登録申込書を配布した。	・すべての子どもたちにもれなく情報が届けられるよう学校と連携する。
2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館	・図書館職員が選んだ、夏休みに子どもたちに読んでほしい本の紹介リストを作成し、市内小・中学校に配布。また、夏休み期間に全館でおすすめ本とリストを別置	・小学校低学年、中学年、高学年用に各18冊、中学生用に18冊を紹介したリストを市立小・中学校の子どもたち全員に配布するとともに、図書館に別置コーナーを設けた。 別置冊数：小学生1,220冊、中学生351冊	・今後も楽しく読める良質な本を紹介する。
3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館	・図書館の仕事を体験してもらう企画として、小・中学生向けには「夏休み家族一日図書館員」、高校生向けには「図書館ボランティア体験」の開催	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「夏休み家族一日図書館員」「図書館ボランティア体験」は中止した。 ・対面を要さない方法で参加でき、科学の本に対する興味を深め、今後の図書館利用につなげる参加型イベントとして、小学生向けのオンラインイベント「かがくあそび かみであそぼう」参加8組、「かがくあそび セミのせかい」参加9組、「かがくあそび とぶたねをつくろう」参加3組、「かがくあそび おとであそぼう」参加2組、「錯視の不思議」参加1組、を開催した。	・今後も小学生から高校生の世代の関心をひくような内容の行事について検討するとともに、対面でのイベントの開催に当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施する。
4	市内小・中学校におけるブックトークの実施	図書館・学校	・学校からの依頼により、図書館職員が授業や全校集会においてブックトークを実施	・小学校4校・中学校1校からの依頼により、図書館職員が学校に出向き、授業のテーマに合ったブックトークを行った。なお、クラス単位での実施や、体育館での実施、各クラスへの全校放送での実施など、学校の状況に応じて新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながらブックトークを行った。	・学校にいる司書教諭や学校図書館協力員へのブックトーク等の研修も検討する。
5	読み聞かせに関する講座の実施	図書館	・図書館員を講師とした読み聞かせの講座の実施や絵本の紹介等	・学校や地域で子どもたちに読み聞かせの機会のあるボランティア等を対象に「絵本の読み聞かせ入門講座」を開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、受講者による読み聞かせの実践は行わない形で実施した。 参加：9名	・良質な本の選び方や読み聞かせについての講義と、読み聞かせの実践ができる充実した内容が好評の講座であるため、感染状況を見ながら受講者による読み聞かせの実践の再開も検討する。開催に当たっては、感染症対策を十分に講じた上で継続する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
		公民館	・子どもの読書に関わる講座を実施	<p>中央公民館においては、子育て支援講座「知って得するママと赤ちゃんはじめのいっぽ」にて「子育てに絵本を」という講座を実施。図書館職員より、乳幼児向けの絵本紹介や読み聞かせの方法について講義を行った。</p> <p>また、分館においては、子育て支援講座の中で子どもの読書に関する講座を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	・絵本を通し、子どもの感受性や創造性を豊かにし、親子のコミュニケーションを図る機会の創出につながる講座の実施に努める。
		地域学習支援課	・「小平地域教育サポート・ネット事業」における地域住民等ボランティア対象の研修等において、図書館員を講師とした講座等を実施	・学校図書館ボランティアの養成等を目的とする講座を、11校で15講座実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校図書館ボランティアの研修・交流会は中止した。(令和元年度は2回開催)	・今後も継続を図り、子どもの読書環境の充実につなげる。
6	子どもたちにとって魅力ある図書館の環境整備	図書館	・ティーンズコーナーの充実、環境整備	<p>・各図書館のティーンズコーナーに、ティーンズ世代向けの図書・雑誌を収集・配架した。</p> <p>・中央図書館では、過去に職場体験の際に中学生に書いてもらったポップを用いたおすすめ本の紹介展示など、ティーンズ世代に向けたサービスの充実に努めた。また、オリンピック・パラリンピック関連展示のほか、「仕事」「進路」「部活」に関する本の展示など、ティーンズ世代に興味・関心をもってもらうための取組を行った。</p> <p>・科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道100冊」の展示を行った。</p> <p>・なかまちテラスティーンズ委員会で「なかまちテラスティーンズ委員会大賞」の本を選び、その結果をポスターで図書館に掲示したほか、ティーンズコーナーで大賞の図書を展示した。また、大賞受賞作品の訳者との交流会を実施し、ティーンズ委員以外の一般の申込者も交え、本を読んでの疑問や感想、翻訳の仕事についての活発な意見交換を行い、読書活動に親しむきっかけを提供した。</p>	・今後も中・高生を中心としたティーンズ世代の関心をひくような内容の展示・行事の企画に努める。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
7	子どもの読書推進の支援	図書館	・子どもの自発的な読書につながる取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書ノート」を作成してこだいら子ども読書月間に配布及びホームページに掲載し、読んだ本の中からおすすめを紹介する「おすすめカード」を提出すると職員手作りのプレゼントや本の帯をもらえる企画を実施した。 ・おすすめ本のほか図書館の利用や本に関するクイズ等を掲載した「こだいらとしょかん子ども新聞」を年に4回発行、配布し、ホームページにも掲載した。 ・他の人に薦めたい児童書や絵本のポップを児童に作成してもらい、展示をした。 ・科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道 100 冊」の展示を行った（再掲）。 ・読書のきっかけとなり、その後の学習や読書活動につなぐものとして、歴史や伝記など、1つのテーマについて書かれた学習マンガを導入した。 ・わくわくするお楽しみ感や新たな本との出会いを生む、本のパック貸出のイベントを実施した。 ・本を借りておみくじを引くイベントや、スタンプをためてしおりをもらうイベントを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した読書ノートを、イベント性を持たせながら活用する。 ・今後も自発的な読書を促す取組として、子どもが楽しく参加し、本に親しめるような取組を企画する。
8	職場体験、奉仕体験、インターンシップや実習生の受入れ	図書館・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の様々な業務を体験してもらう中学生の職場体験の受入れ ・司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中学生の職場体験及び司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れは中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もキャリア教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため実施する。なお、受け入れに当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施する。
9	ティーンズ委員会の開催	図書館	・10代の中高生を募集してティーンズ委員会を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、オンラインによる開催2回と対面による開催の計6回の委員会を実施した。 ・令和2年度開催から実施した中学生・高校生による大賞決定の投票を継続して、小平市立中学校、都立小平高校、白梅学園中高一貫部の他、市内全公立図書館8館にて投票を実施した。 ・令和3年大賞作品に選ばれた本の訳者と中・高生との交流会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は学校図書館等と一層の連携を心掛け、図書委員会の活動等を捉えて、ティーンズ委員会の周知を図る。同時に多様な参加者による交流の機会を提供することにより、青少年の読書活動の推進を図る。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
10	情報リテラシーの支援	図書館	・レファレンスサービスの充実、情報リテラシーを養うための企画の検討及び啓発	・ホームページに掲載しているパスファインダーを更新した。	・中学生・高校生に対するレファレンスの充実を図るとともに、情報の正しい評価・活用ができるような企画を検討する。
11	アーカイブの利活用促進	図書館	・郷土学習に「こだいらデジタルアーカイブ」を利活用してもらうための講座・イベント等の開催	・「こだいらとしょかん子ども新聞」でデジタルアーカイブの紹介をした。 ・デジタルアーカイブについてのパスファインダーを作成し、ホームページに掲載した。	・イベントの開催に当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施する。
12	市内の高等学校との情報交換	図書館	・高校生の読書推進や図書館利用につながる展示、行事の開催	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	・高校生が必要としていることや、学校生活の中で役立つことなどに応じた企画を検討する。
13	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	・布の絵本・遊具、点訳絵本や録音図書、大活字本、外国語の図書・絵本の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデイジー図書の貸出 ・デイジー図書・マルチメディアデイジー図書、LLブック、大活字本等のPR ・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のある子どもが市立図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	・サピエからのダウンロードを含むデイジー図書の個人貸出を 578 タイトル行った。 ・「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、LLブックなどの展示をし、通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。 発達障がい啓発特別展示では、障がい者支援課と連携して、ペアレントメンター（発達障がいの子どもを持つ親の相談員）事業、白梅学園大学小平市連携療育事業、子ども家庭支援センター事業、障害者福祉センター事業の紹介も併せて展示した。 また、期間中ペアレントメンターが発達障がいの子を持つ相談者の話を聞いたり支援機関等の情報提供をしたりする場を設けた。	・引き続き、通常の活字資料の利用に困難がある子どもの読書を支援する資料・体制の充実に努める。 ・今後も支援を必要としている子どもや周りの大人たちに情報が届くよう努める。 ・読書バリアフリー法に基づく図書館の施策のあり方について研究する。
14	ホームページの充実	図書館	・見やすく使いやすいホームページを目指した内容の充実	・図書館で行っていた展示の資料リストを図書館ホームページから見て予約もできるように Web-OPAC に掲載し、利用者が自宅から予約する資料を選択しやすくした。	・図書館のホームページをさらに見やすく使いやすくし、魅力ある情報を伝えられるよう充実に努める。
15	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館	・地域で子どもの読書活動推進のための活動を行う小平市子ども文庫連絡協議会に対する活動場所の提供や行事の共催等による支援	・協議会単独の活動場所の提供及び共催行事の開催をした。	・小平市子ども文庫連絡協議会による図書館行事への協力など、今後も相互協力する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
				【共催行事】 ・スライド講座「ハンス・フィッシャーとフェリクス・ホフマン」を、中央大学名誉教授・前東京子ども図書館評議員の池田正孝氏を講師として ZOOM で開催 参加：29 名 ・「池田正孝先生追悼パネル展示」を、中央図書館 1 階で開催	・共催行事の開催に当たっては、オンラインでの開催も取り入れ、対面での開催とする場合は感染症対策を十分に講じた上で実施する。
16	児童館における読書活動の推進	子育て支援課	・児童館内の図書コーナーの充実と絵本の読み聞かせや紙芝居などの行事の開催	・各館で読み聞かせイベントを実施した。 【花小金井南児童館】 ・乳幼児向けの読み聞かせを平日は毎日、土日は不定期で実施 ・かみしばいサークル「ともしび」による、紙芝居の読み聞かせを毎月実施していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した回があり、令和 3 年度は計 4 回実施 参加：年間 71 名 ・乳幼児向け絵本、小学生向けマンガの追加 【小川町二丁目児童館】 ・乳幼児向けの読み聞かせイベントを毎月 2 回実施 参加：年間 271 名 ・乳幼児向け、小学生向けに読み物、マンガを追加 【小川町一丁目児童館】 ・乳幼児ふれあいあそび内で読み聞かせを行うほかに、イベントとして「読み聞かせの会」を年間 2 回実施 参加：年間 43 名 ・その他職員推薦図書を毎月選定して紹介	・利用者の実態に合わせた書籍の選定を、継続して行う。 ・引き続き、中高生が興味を持つ雑誌や書籍・マンガを購入する。 ・乳幼児ふれあいあそび内の読み聞かせに加え、再開する乳幼児クラスでの読み聞かせ、職員推薦図書の紹介を引き続き実施する。
17	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課	・絵本の読み聞かせや紙芝居等の実施	・市立小学校全校で実施している放課後子ども教室において、紙芝居・読み聞かせ等の教室を 9 校で開催した。	・今後も放課後子ども教室の事業継続を図り、子どもの読書活動につなげる。
18	学童クラブにおける読書活動の推進	子育て支援課	・学童クラブ内の図書コーナーの充実と読書の時間の確保及び読み聞かせの実施	・学童クラブにおいて、新たに 6,173 冊（うちマンガ本 3,643 冊）を購入し、充実に努めた。	・今後も図書コーナーの充実を継続実施する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和3年度実績	今後の展開等
19	児童文学講演会の開催	図書館	・大人に向けた児童文学に関する講演会等の開催	<p>・世界の絵本を集めた展示会「絵本で知る世界の国々～IFLA からのおくりもの～」を中央図書館視聴覚室で開催した。</p> <p>・小平市子ども文庫連絡協議会との共催行事として、児童文学に関する講座・展示を開催した。</p> <p>【共催行事】</p> <p>・スライド講座「ハンス・フィッシャーとフェリクス・ホフマン」を、中央大学名誉教授・前東京子ども図書館評議員の池田正孝氏を講師として ZOOM で開催 参加：29 名</p> <p>・「池田正孝先生追悼パネル展示」を、中央図書館 1 階で開催（再掲）</p>	・開催に当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施を検討し、引き続き小平市子ども文庫連絡協議会と協力しながら大人に対する児童文学の啓発に取り組む。
20	リサイクル本の提供	図書館	・ブックリサイクル予定の本を市内の保育園等に提供	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	・関係機関の要望に応えるとともに、リサイクル本の有効活用ができるため、開催に当たっては、感染症対策を十分に講じた上で実施を検討する。
21	子ども読書の日になんだ行事の開催	図書館	<p>・「子ども読書の日（4 月 23 日）」になんだ行事の開催</p> <p>※注）子ども読書の日は、国民に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に「子どもの読書活動の推進に関する法律」第十条により定められている。</p>	<p>・4 月 1 日から 5 月 19 日の期間を「こだいら子ども読書月間」としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため図書館が休館したことに伴い、一部の事業を中止もしくは延期して開催した。期間中は全館で読書ノートの配布、絵本や児童書の展示、おはなしパックの貸出やスタンプなどのイベントのほか、児童対象では初のオンラインイベント「かがくあそび かみであそぼう」を開催した。参加：8 組</p>	・読書に対する子どもの関心を高めるため、今後も対面を要せずにできるイベントも交えながら行事を企画し、継続する。

第 4 次 小 平 市 子 ど も 読 書 活 動 推 進 計 画
【令和 3 年 度 進 捗 状 況】

発 行 令和 4 年 9 月
編集・発行 小平市中央図書館
小平市小川町 2 丁目 1325 番地
電話 042 - 345 - 1246 (代表)
電子メール tosyokan@city.kodaira.lg.jp
¥70